

●とびくす●

公益社団法人 徳島県建築士会の実現に向けて

社団法人徳島県建築士会 会長 佐藤 幸好

会員の皆様、明けましておめでとうございます。皆様に於かれましては、お健やかに新年をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。

さて、社団法人徳島県建築士会は、昭和26年12月25日に徳島県から認可され、昨年末に60年の節目を迎えることができました。このような節目の年に、士会は、新たな組織「公益社団法人 徳島県建築士会」として生まれ変わろうとしています。経過としては、平成22年6月から徳島県と協議してきた公益法人改革特別委員会から、公益事業比率50%とその収支相償の大きな課題克服が可能であるとの提言を受け、昨年10月6日開催の常任理事会にて、公益社団法人への移行を決議していただきました。

そこで、新年にあたり、私が公益社団法人への移行を決意した理由と共に、これからの抱負について述べさせていただきます。

●決断の三つの理由

一つは、公益社団法人は、徳島県の厳正な審査により公益性を認定されることから高い社会的信用と評価が得られると考えられます。二つ目は、徳島県が公益性を認定した活動や事業に参画していることで、社会的評価が向上し、結果として社会的信用度の高い士会の活動に賛同して、会員が増えることが考えられます。三つ目は、公益社団法人は、寄付への税制優遇を受けられる特定公益増進法人に該当することとなり、これを活用して建築士会活動への支援を得ることは、活動の安定的継続に貢献すると考えられます。

●新たな士会の姿と課題

県内の建築団体で唯一の公益社団法人となり、定款に定めた「建築士や建築士会が、その職能や県下全域に渡るネットワークを生かした事業を実施することで社会に貢献する」を目的に活動することで、行政からは一目置かれ、建築行政やまちづくり施策の展開においては、常に士会が協働できる団体となることが、何より重要であると考えます。また、公益社団法人として、民間の企業からは、事業内容によっては広く浅く寄付の提供があり、多くの支援企業とのネットワークによる社会的な公益事業が展開できることが理想です。さらに、公益法人

改革の中で従来の自由な活動を維持するために、任意団体となった支部の役割は、新たな建築士会のネットワーク組織（地域会）の中に位置づけられ、それぞれの地域で顔の見える身近なグループとして、従来よりも活発な研修旅行や交流事業と共に、地域における景観や防災、まちづくりとしての地域貢献活動を行い、地域で信頼される専門家組織になることが重要であると考えます。

しかし、新たな士会の姿を実現するには、公益社団法人であるか一般社団法人であるかにかかわらず求められる内部統治の明確化は、避けて通ることができません。内部統治に関しては、従来の定款、細則類を法人法の要請に合致するように見直します。具体的には、総会および理事会の機能や権限の明確化と共に、理事の人数や理事の業務執行上の責任等を協議しなければいけません。また、本部と任意団体となった支部の新たなネットワークの構築により、今まで以上に緊密な連携方策についての協議も求められるようになると考えます。

今後は、総務委員会を中心に協議を行い、3月をめどに取りまとめ、常任理事会に諮り、5月の総会で決議したいと考えています。

●持続可能な士会をめざして…

今、時代は大きく変化しています。そして、徳島県建築士会も大きく変わろうとしています。確かに、慣れ親しんだ組織への改革は抵抗もあるでしょう。しかし、この改革は、諸先輩が築かれた素晴らしい歴史を無にするものではなく、今迄の歴史に新たな1ページを加えるものと信じています。本会を取り巻く内外の状況、特に足元の現状を謙虚に見つめると、この改革はいつかはやらなければならないのです。その時期が今であると。そしてそれは誰かが担っていかなければならないということです。色々なご意見があることは十二分に承知しています。しかし、担当する我々としては、この士会をより良くしていきたい、その共通認識の下で多くを検討してきましたし、今後も頑張っていく覚悟です。会員の皆様にはどうかこの現状にご理解をいただき、これからの改革に是非とも多大なご協力をお願いするものです。

新たな建築士会の姿をめざして「連（REN）is more…」

県内交流会に参加して

川島支部 林 宏和

12月3日、4日に淡路島で行われた県内交流会に参加させていただきました。

集合場所の〈南あわじ市産業文化センター〉へは各自現地集合です。その為か、予定時刻を若干過ぎましたが、参加者全員が無事に到着です。

初めに大栄窯業株式会社の道上大輔氏の淡路瓦の特徴・特性・耐震瓦の説明という事でしたが、話し始めてすぐに道上氏の淡路瓦に対する熱い思いが伝わってくる内容で、非常に興味深く聞かせていただきました。

その後、(社)全日本瓦工事業連盟加盟、徳島県瓦工事・販売組合の方々からも、組合加盟店の新たな工法の開発、ガイドラインに沿った施工をする為の技術力の向上等、普段取り組んでいる活動内容に関してのお話があり、瓦工事は組合加盟店に頼まなければならないと思いました。

そして、(株)ミハラの島本社長のお話も聞かせていただきました。最盛期には年間二億枚製造していた淡路瓦が、阪神淡路の震災後に需要が急激に落ち込み、淡路瓦の製造業者もおよそ四分の一程度まで減ってしまった事、これではいけないという事で瓦を使ったエクステリア商材、外装材等の開発、更にはブランド力強化の為の地道な広報活動を通じて、必死に淡路瓦の伝統を守ろうとしている事が伝わってきました。

続いて大栄窯業さんの瓦工場見学では、現役の鬼師の方々の作業風景を見学させてもらった他、古い鬼瓦の保存、復元もされている事も知って、伝統を重んじ、後世に伝えていこうという姿勢が感じられました。

次に2班に分かれての移動で、私はA班で行動です。まず、(株)タツミの見学です。庭には瓦を使ったオブジェや置物があり、独特の趣がありました。更に使っていなかった工場を改装したという室内にもふんだんに瓦が使われていて、機会があれば是非使ってみたいと思いました。

次に、達磨窯の見学です。仙人のような人が近づいてきたと思ったら、その人が達磨窯を作った山田修二さんでした。人生を達観したような風貌で、独特の語り口で達磨窯について話してくださり、最後は名刺交換までしていただきました。

最後は土座にてコースター制作です。時間の都合で30分以内に制作しなければならないとの事で、時間があれ

ば家の家紋をデザインしようと思っていたのですが、妻の実家の家紋が簡単だったので、そちらを借用しました。

しかし、いざ作ってみると思ったより時間がかかり、結構難しかったですが、なかなかの出来栄で仕上がりを楽しみます。

民宿でチェックインした後は、いよいよ懇親会です。会場のかわらやは、本物のいぶし瓦の上にイノブタと野菜を乗せて焼く料理が名物の有名店らしく、テレビでも何度か取り上げられたこともあるそうです。早速焼いてみると、瓦なので火の通りは時間がかかりますが、その分食材がじっくり焼けるので、見た目も楽しく、そして美味しくいただきました。

今回の交流会では、各支部、そして淡路瓦の職人さん達との交流はもちろん、何より淡路瓦について深く考える機会を与えていただき非常に有意義な時間を共有できたと思います。

最後になりましたが、当日ご参加いただいた皆様お疲れ様でした。そして、鳴門支部の皆様大変お世話になりました。



お土産の開運厄除の瓦です。



なごやかな勉強会

川島支部地域貢献活動報告

川島支部 井内 未起

今回の記事を担当させていただく川島支部青年部長の井内です。

川島支部ではこの度地域貢献活動として、遍路道にほど近い温泉でゆっくりした後、また巡礼の途中でのお接待として、吉野川市鴨島町の鴨の湯に、ベンチ、テーブルを設置しました。

数回の打ち合わせの結果、材料は、O谷さん担当、加工M岡さん担当として、進めていくことになりました。

デザインは、やはり木を生かした柔らかい中にも力強さを感じるものにしたい。丈夫なものにしたい等色々な意見が出ましたが、最初は結論が出ず。

そのあと阿波のまちなみ研究会・川島支部合同視察見学会で行った島根方面では、名所、旧跡、ベンチと見るものが増えて大変勉強になりました。

そんなこんなでデザインも決まり、早速O谷さんには製材所という職業を生かして、イメージに合ったいい材料を調達していただき、M岡さんの作業場をお借りしての加工が始まりました。

作業は手際よく進められました。

そして設置作業の日を迎えました。天候にも恵まれ、市役所職員の方が見守るなか、抜群のチームワークと行動力で和気あいあいと作業が進められ、怪我もなく無事作業終了となりました。

座ってみると座り心地もよく、周りの景色にもしっくりなじんでいくと思います。また前回設置したベンチとの隣ということもあり、よりたくさんの人に活用していただけるコーナーになっていると思います。

皆様も八十八ヶ所参り（11番札所、藤井寺近く）、ご入浴の機会があればぜひ座って、鴨島から見える景色と我々の顔を思い出して憩いの時間を楽しんでいただけたらと思います。



後列左から松岡、松原、井内、大谷
前列左から高浜、鎌倉、桑田

収穫祭の「親子工作」

美馬支部 新人会員 近藤 隆

11月6日、今日は娘の通う学校で収穫祭が行われる。朝8時に娘を学校に送るのが、収穫祭の時の私の仕事。親が集まるのが9時ごろから……。用意の遅い嫁の尻を叩いてちょっと遅れ気味に到着……。これもいつものことである。何とか始まるまでに間に合い、子ども達の歌や踊りも終わってやっと自由時間になった。

この日は天候があまり良くなかったが、体育館や運動場には各学年、PTAの方がいろいろなブースを設けて賑わっていた。幼稚園児の娘のブースに行ってみると、何やら親子で工作するらしい。先生達が忙しそうに準備をしている。工作の準備も終わり、先生が説明し始めた。机の上にはホットボンド・ゼリー状の瞬間接着剤・10mmぐらいのスタイロっぽ棒……。

何を作るのかと思っていたら先生が、『は～い、それではお父さん・お母さんと一緒にこの材料を使って、お家を作ってください。』といった。私の目付きが一瞬でかわった! 『ここは大工としてお父さんの妻さを子ども達に見せる絶好のチャンス!!……』っと頭の中で思いながら娘に『は～ちゃん(ハルカ)は何色のお家がいい?』っと聞くと『ピンクー』、『他には?』っと聞くと『う～ん…な～い……』といわれた。これは困った……。このまま作ると、どこかの写真家のような家になってしまう……どうしよう……。私は娘に、『じゃ～、屋根をピンクにして下の方は白にしようか?』と聞くと、『うん、いいよ』っと娘がいつてくれた。やれやれと思いながら、やっと製作に取りかかる。

それでは、まず材料集め! 私は弟のじん君と姉のはるかに『じん君、は～ちゃん、ピンクの棒と白い棒取って来て!!』っと頼んで、私は参考に置いてあった家のイラストを見た。先生がこれを参考に作ってくださいといていたが、明らかにこのイラストは参考にならない……。私は頭の中でイメージを作り、子ども達と工作に取りかかった。ハサミもカッターナイフもなかったので長さを揃えるのに大変だったが、各部材の長さを揃え本数を確認し、いよいよ組み立て!

この時点ですでに親子工作が『オヤジ工作』になっていたのに気づいてないのは私だけである。接着作業も着々と終わり、作業開始からおよそ1時間、ようやく完成!! 私ができ上がった家の角度を変え、ブツブツいいながら眺め、隣にいた嫁の顔を見ると、苦笑いをしていた。来年は、弟のじん君が幼稚園に入園する。また、来年の『オヤジ工作』も楽しみである。



工作風景



完成しました



お披露目

お菓子の家をつくろう！

徳島支部 濱田 知佐

去る12月3日コープ住吉において「第5回・お菓子の家をつくろう！」のイベントを開催しました。このイベントを初めて開催したのは、2年前、今回と同じコープ住吉から始まり、次に北島、池田、阿南…と、させていただきました。それぞれの支部の方々と、そのご家族に支援していただいて楽しく会を重ねる事ができました。特に今回のイベントを実行できたのは、平成23年度社会的活動支援事業に採択されたお陰さます。選んでいただいた委員の皆様ありがとうございました。

お菓子は、楽しさや夢を広げ豊かな食文化を創造します！お菓子は、生活に美味しさ、安らぎ、団らんをもたらします！お菓子は、心と体の元気を育てます！誰もが一度は絵本などで見ている「お菓子の家」ですが、作った経験のある子どもは、ほとんどなく、皆、お菓子の山を見ると目を輝かせて子どもも親も熱心に作っています。そして毎回、子どもたちの自由な発想に驚かされる作品ができます。

今回も20名の募集に対して30名を超える子どもたちが集まり、また新たなカワイイお菓子の家がたくさんでき上がりました。

イベントの流れとしては、実際の建物ができるまでの説明、次におかしの家の作り方の説明、作りたい家のイメージ画を描いてもらった後お菓子の家を作成、でき上がったら建物見学会と称したお友達の作品を見学し笑顔の絶えないイベントの終了となります。

このようなものづくりの体験を通して子どもたちに家づくりに対する興味を持ってもらい将来に向けた小さな建築士を育てたい！元気で創造力のある人に成長してもらいたい！という思いで私たちは、イベントを開催していますが、このイベントは建築士会のイメージアップに貢献できているのでしょうか？

次回は2月、北島で開催します。是非ご参加下さい！



女性部からのお知らせ

■見学会の開催を企画しています！

3月初旬に「今治市伊東豊雄建築ミュージアム」の見学を企画しています。詳細は次号およびMLにてご案内させていただきます。

●士会だよりー本部●

第6回 お菓子の家をつくろう！with LED

童話「ヘンゼルとグレーテル」にでてくる『お菓子の家』をご存知ですか？

固焼きパンの屋根、厚焼きスポンジやクッキーの壁、キャンディーの窓にチョコレートのドア…。

お菓子の家に、灯りをともして飾ってみませんか？

『LED』を使って、光るお家をつくりましょう！

ぜひ、お友達と一緒にご参加ください。

開催日：2012年2月5日(日) 14：00～16：00 北島サンモール

定員：20名 小学3年生以上(幼・小学2年迄の方は保護者同伴)

参加費：500円(当日集めます。おつりのいらないようにお願い致します)

問合せ先：徳島県建築士会事務局 088-653-7570

主催＝(社)徳島県建築士会

主管＝(社)徳島県建築士会「お菓子の家をつくろう」

共催＝(社)徳島県建築士会女性部会

※筆記用具を持参してください。

※お持帰り用の箱(A4サイズよりも一回り大きいもの)をご用意下さい。

●士会だよりー徳島支部●

第2回市民と行う鳴門市

「ユニバーサルデザイン点検会」開催

日時：平成24年1月29日(日) 午前10：00～午後3：30

場所：鳴門市立図書館 3階展示室(集合時間10：00)

点検施設：鳴門市立図書館

参加者：高齢者・車いす使用者・視覚障害者・中学生・高校生・大学生・その他

内容：午前は市の建物を参加者の皆さんと点検します。午後はワークショップ形式で施設に関して参加者と意見をまとめます。

申込期限：平成24年1月20日まで(金)

申込先：建築士会鳴門支部青年部長河村勝(携帯080-3168-8543)まで

メール niko_niko_8739@ybb.ne.jp FAX088-685-8483

※支部名・氏名・連絡先(携帯)を教えてください。

詳しくはHPをごらんください。

●士会だよりー本部●

平成23年度第4回建築士定期講習の受付

建築士事務所に所属する建築士が3年毎に受けなければならない定期講習の最終回平成24年2月19日(日)の受付を、平成24年1月末まで行います。平成20年以前に建築士試験に合格されて現在所属建築士として従事されている方には、最後の講習となります。まだ受講されていない方は早めに申し込んで下さい。

●行政だより●

「明日からできる木造住宅の耐震リフォームセミナー」のお知らせ

日時：平成24年1月15日(日) 13：30～15：30

場所：徳島県建設センター 7階会議室

内容：三連動地震に備えた木造住宅の耐震化支援策の活用方法について／耐震診断・簡易な耐震化工事の実施方法について

対象：大工・工務店等の施工者

定員：120名程度

参加費：無料

主催：徳島県木造住宅推進協議会

詳細は建築士会(TEL088-653-7570)へお問い合わせ下さい。

●行政だより●

「徳島すぎの家ウッド通貨モデル事業」及び「もっと木にして徳島すぎ需要拡大モデル事業」の募集期間を延長しました！

徳島県では、住宅や店舗等に県産材を利用した施主に対し、木製品と交換できるWOODポイントの提供や経費の一部助成を行っています。今回、次のとおり募集期間を延長しましたので、ぜひ、ご利用ください。

①徳島すぎの家ウッド通貨モデル事業(新築住宅)

2012年3月30日(金)まで

②「もっと木にして」徳島すぎ需要拡大モデル事業(店舗等)

2012年3月23日(金)まで

☆予算が上限に達しましたら、期間内でも募集は終了します

☆いずれも平成23年度内に着工していただくことが条件です
問合せ先：林業振興課 木材需要拡大担当 TEL088-621-2448

●士会だよりー本部●

堀部安嗣 講演会「風景と時間とともに」

日時：平成24年3月24日(土) 14：00～16：30

場所：阿波海南文化村 海部郡海陽町

主催：かいふ木の家・徳島県林業飛躍基金地域協議会南部地域部会

共催：徳島県建築士会

☆詳細は2月号折り込みにて発表します

●行政だより●

「とくしま集落再生プロジェクト」(素案)について
県民の皆さんのご意見を募集しています。

<http://www.pref.tokushima.jp/docs/2011111500134/>

編集後記

- ・あけましておめでとうございます。向かいの寺に除夜の鐘を撞きに行つていつものように新年が始まりました。(ノーリツ号)
- ・近くに神社に初詣行くといつもみかんをくれます。(酎西)
- ・寝正月です。(ぺべい)
- ・今ちゃん、ケーキごちそうさま♪(中山腹太郎)
- ・ごちそうさま。今ちゃん。(ひとはたうさぎ)

建築士会本部行事案内 平成24年

平成24年 1 月			2 月		
6 日	安全・安心リフォーム相談	(士会会議室)	1 日	一日会	(士会会議室)
11 日	建築相談	(〃)	2・3 日	中四国 B 会長会議	(愛媛)
13 日	安全・安心リフォーム相談	(〃)	8 日	建築相談	(士会会議室)
15 日	安全・安心リフォームセミナー	(建設センター7階)	11・12 日	スキーツアー	(兵庫ハチ北高原)
18 日	建築相談	(士会会議室)	15 日	建築相談	(士会会議室)
20 日	二級建築士免許証交付式	(徳島県)	16 日	総務委員会	(〃)
27 日	応急危険度判定士資格認定講習会	(あわぎんホール)	19 日	定期講習	(建設センター7階)
	安全・安心リフォーム相談	(士会会議室)	23 日	財務委員会	(士会会議室)